06/08 山口県　長門市（1／2）

隊員情報：戸田 絵美（国土政策局離島振興課）、川橋 美里（国土政策局総合計画課）、伊藤 愛真（畜産局畜産振興課）

長門市の魅力ポイント　■面積　357.31 km²　■人口　約3.0万人　■指定地域　振興山村、特定農山村、過疎

（出典）https://smout.jp/plans/17293

■　音信川（おとずれがわ）沿いに広がるオソト天国「長門湯本温泉」
→地域のシンボル「恩湯（おんとう）」や話題の「界 長門」に加え、山口県初となる川床テラスや飛び石、街中を照らす幻想的なライトアップ、レストランやカフェ等が続々開業。

■　濃厚水素の美肌名湯と外湯文化が作り出す独特な街並み「俵山温泉」
→湧出量の少ない良質な源泉を維持するために、俵山温泉の旅館にはほとんど内湯がない。江戸時代から続く老舗旅館や木造旅館が軒を連ねる温泉街を散策しながら共同外湯温泉へ。

■　アメリカCNN「日本の最も美しい場所31選」に選ばれた「元乃隅神社」
→海岸から鳥居123基が100m以上にわたって並ぶ姿が印象的。日本一入れにくい！と話題を集める「大鳥居の賽銭箱」も楽しみの１つ。

■　人口１万人あたりの店舗数は日本トップクラス！「長門やきとり」
→長門市のやきとりは長ねぎではなく玉ねぎが使われ、ちぎったキャベツと一緒に提供される。卓上にはガーリックパウダーが置かれている店が多く、一味や七味唐辛子と合わせてお好みで付けながら食べるという特徴もある。

（出典）https://oidemase-Yamaguchi.jp/nishinokunikara/materials/805

山口県　長門市（２／２）

隊員情報：戸田 絵美（国土政策局離島振興課）、川橋 美里（国土政策局総合計画課）、伊藤 愛真（畜産局畜産振興課）

長門市の課題

■政策分野　観光･畜産振興

- ■ 「観光客数」や「観光消費額」は伸びているものの、「延べ宿泊者数」は減少傾向にあり、「外国人延べ宿泊者数」の伸びも大きくない。「来訪者満足度」や「リピーター率」も低い状況となっている。
  → 「宿泊地魅力の活用不足や滞在時間延伸のためのコンテンツ提供が不十分である」ことや「旅行者ニーズへの対応不足や旅行者の期待を上回るようなサービス提供に至っていない」ことが要因として考えられる。
- ■ 「農家の高齢化」や「担い手不足」等により「飼養戸数」が減少しており、「飼料･資材価格の高止まり」や「子牛価格の下落」等により経営環境が厳しい状況になっていることから、長門市の基幹産業である畜産業がかつてのような活力を失いつつある。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- ■ 令和６年６～７月：オンライン打合せ（顔合せ、市より市の概況、畜産業･観光業の様々な課題の説明）
- ■ ８月：オンライン打合せ（観光拠点整備、土地の造成基本計画の策定等に活用できる補助金･交付金制度の紹介（宿題返し））
- ■ ９月：現地視察（市長との意見交換、現況把握）
- ■ 10月：オンライン打合せ（現地視察の振り返り、地方応援隊で取り組む課題の設定、JAと行政の連携事例、和牛生産における話題提供（宿題返し））
- ■ 11～12月：オンライン打合せ（新規体験プラン造成についての意見交換、類似事例の紹介、視察報告）
- ■ 1～２月：オンライン打合せ（「農村漁村」経済･生活環境創生PF等の紹介、新規体験プラン造成に向けてのアイディア出し、今後のスケジュール確認）

現在の進捗と今後の方針

- ■ 観光分野については、長門市の名物である「長門やきとり」等を活かした観光滞在日数の長期化、高付加価値化に向けた仕掛けづくり、畜産分野については、肉用鶏と肉用牛を地域内一貫生産する畜産団地の整備に向けた伴走支援、また観光分野と畜産分野で連携した体験プラン等の造成を行っていくこととなった。今後は月１回程度のオンラインでの打合せを継続し、情報収集のうえ適宜アドバイス等を行う。